

## 「地域の魅力を発信しよう」 ～オリジナルマップ作りを通して～

### 単元について

#### 1 生徒観

表1・表2は、6月に行った生徒アンケートの結果である。1学年の生徒は、課題を解決しようとする意欲（表1の①）や情報の整理・分析をしようとする意欲（表1の③）が高い一方で、進んで情報を収集する意欲（表1の②）や自分の考えを積極的に伝えようとする意欲（表1の④）が低い。このことから、本校で設定した資質・能力については、「表現力」に課題があると言える。また、「社会貢献力」については、地域をよりよくしたいと考えている生徒は9割以上（表2の①+②+③）いるが、主体的に行おうとする生徒は4分の1程度（表2の①）にとどまっている。このことから、「主体的に学ぶ力」についても課題があると言える。

表1 「課題発見・解決学習」に係るアンケート結果

質問項目	肯定的評価
①授業では、解決しようとする課題について、「なぜだろう」「やってみよう」と思います。【課題設定】	87%
②授業では、課題を解決するために、進んで資料を集めたり取材をしたりしています。【情報の収集】	70%
③授業では、比較・分類・関連付けして、何が分かるかを考えています。【整理・分析】	86%
④授業では、自分の考えを積極的に伝えています。【まとめ・創造・表現】	74%
⑤授業では、考えたり提案したりしたことについて、実際に取り組んでいます。【実行】	80%

表2 社会貢献力に係るアンケート結果（①の方がレベルが高い）

評価基準	生徒の割合
①地域や社会に対して疑問や課題意識を持ち、どうすれば地域や社会がより良くなるかを考え、自分ができることを考え、自らの責任で判断し、行動（実行）することができます。	25.4%
②普段から、地域や社会をよりよくするために、「こうしたい」とか「こうなってほしい」と考えるようにしています。	45.3%
③自らの意志で、ボランティア活動等に参加し、地域や社会に役立とうとしています。	23.4%
④まだ③の段階に達していない。	6.0%

#### 2 単元観

本単元では、地域の人々に話を聞いたり、地域の様々な場所を見て歩き、マップにまとめ、必要とする人々に届けるという活動を行う。学習を通して、地域の良さを知り、地域のために自分ができることを考え実行しようとする学びの中で資質・能力を育てることを目指している。また、特に次の2つの場面で、課題となっている「表現力」「主体的に学ぶ力」といった力を高めていくことを目指す。1つ目はマップ作成の計画を立てる場面、2つ目は、マップの下書きを作成し、相互評価をする場面である。

このような単元の学習を進めることを通して、他者のために自分ができることを考え、主体的に行動できる生徒を育てるとともに、課題解決の過程において、筋道を立てて考え、その考えを進んで相手に伝えることで、協働して課題を解決する楽しさや充実感を味わってほしいと考え、この単元を設定した。

#### 3 学びづくり観

子どもの学びを充実させるために、次の2点について留意する。

1点目は研究大会主題となっている「自ら考え学ぶ授業」を創ることである。そのために、学級内を「編集部」と「取材部」に分けるとともに、部長、副部長をおくことで、生徒同士で話し合いながら活動できる体制をつくる。また、編集部員が取材部の班担当として付くことで、お互い連携しやすいようにする。単元を通して、「次何をするか」「どうすればより良いマップになるか」を自分たちで考えられるよう支援することにより、主体的な学びを創っていききたい。

2点目は、課題となっている「表現力」を高めることである。そのために、他クラスによるマップの相互評価と、ゲストティーチャーによるマップの評価を行う。生徒同士で相互評価を行うことで、自ら深く考えることができ、ゲストティーチャーによる評価を行うことで、プロの考えに触れることができる。他者の意見も取り入れ、分かりやすく伝えるためにはどうすればよいか考えを深められるように支援する。

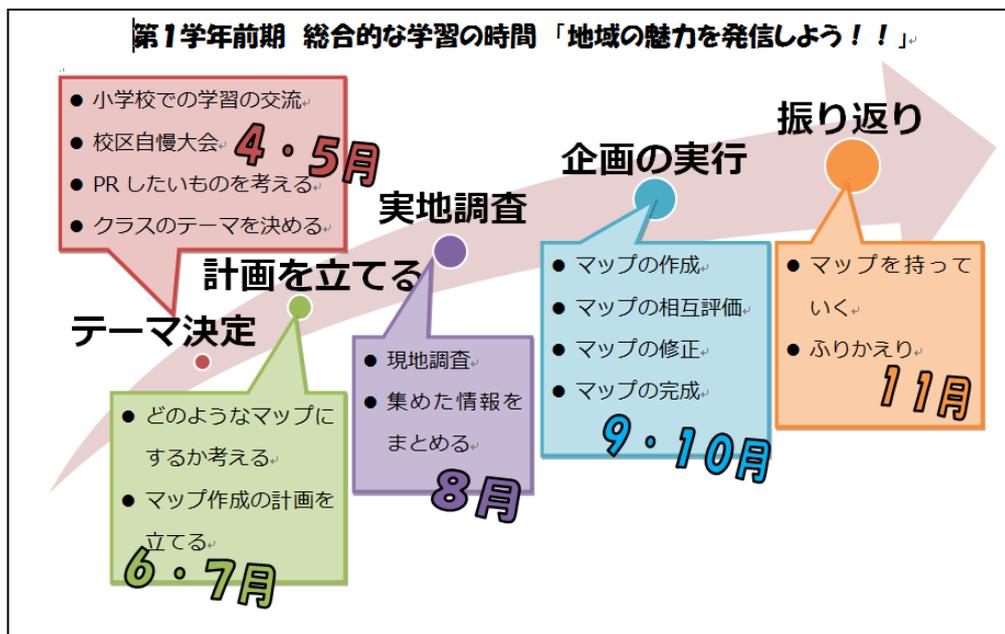


図1 学習の流れ

## 単元の目標

単元の活動を通して、地域の魅力を見出し、その魅力を様々な人に伝える内容や方法を考え、実行することができる。

## 単元の評価規準

評価の観点	本校の設定した 資質・能力	評価規準
知識・技能 ①	知識・技能 知	①地域の魅力について理解を深めることができる。 ②地域の調査にかかわる技能を身に付けている。
思考・判断・表現 ②	思考力・判断力・表現力 思	①調べた情報から必要な情報を抽出し、自分なりにまとめることができる。 ②地域の魅力を誰にどのようにPRするか、多面的・多角的に考えることができる。 ③相手に伝えたい内容を精選し、分かりやすく伝える工夫をすることができる。
主体的に学習に取り組む態度 ③	主体的に学ぶ力 主	①自ら課題を見出し、課題解決の方法を考えることができる。
	他者とかわる力 他	①仲間と協力し合い、オリジナルのマップを作成することができる。 ②話し合いやインタビューを通して、考えを深めることができる。
	社会貢献力 社	①地域の魅力を発信するために、何をすべきかを考えることができる。
	自己形成力 自	①課題解決に向けて、計画を立て、前向きにチャレンジすることができる。 ②単元を振り返り、地域の魅力について自信を持って紹介することができる。

## 単元と評価の計画

### 1 学びづくりの年間計画

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
単元	「地域の魅力を発信しよう」 (30時間)									「先人の生き方に学ぼう」 (20時間)		
	地域理解・社会貢献						自己探究					

## 2 単元と評価の計画

小単元名	学びの過程	時数	○学びの内容 ・学びの活動	評価規準 (評価方法)	教科との関連	
を振り返ろう	小学校での学び 整理・分析	2	○ガイドンス ・単元ガイドンスを聞き、小学校で学んだことを交流する。 (1) ・各小学校で行った地域学習を振り返り、校区にはどのような魅力があるのかを整理し、校区自慢大会を通して、校区にはどのような魅力や課題があるのかを整理する。(1)	⊖【思-③】 (行動観察) (自己評価表)		
		2	○PRしたい内容の提案 ・校区自慢大会をもとにPRしたいことを付箋に書き出す。 (1) ・クラスのテーマを決定し、テーマに沿ったどのような地域の魅力を発信するか考える。(1)	知【知-①】 ⊕【社-①】 (行動観察) (自己評価表)	⇒【英語】 福山市の好きな場所の紹介	
地域の魅力を発信しよう	課題の設定	3	○内容の具体化 ・ゲストティーチャーの話を聞き、マップを作る上で大切なことやどのようなマップが良いマップなのか理解する。 (1) ・クラスのテーマに沿ってどのような魅力を誰に発信するか吟味し、決定する。(2)	⊕【主-①】 ⊖【思-②】 (行動観察) (自己評価表)		
		5	○マップ作成の計画 ・グループに分かれて、PRするために自分たちがすることとその方法は何か考える。(1) ・電話やインタビューの仕方を学ぶ。(1) ・校外でのインタビューなどの調査に向けて行動計画を作成する。(2) ・質問項目の検討を行う。(1)	⊕【主-①】 ⊕【他-①】 ⊕【自-①】 (行動観察) (自己評価表)	⇒【国語】 敬語の使い方 ⇔【国語】 手紙の書き方	
	情報収集	6	○調査の実行 ・校外でのインタビューや実地調査をする。(6)	知【知-②】 ⊕【他-②】 (行動観察) (自己評価表)	⇒【社会】 身近な地域の調査	
		4	○マップの作成 ・タイトルや写真、記事の配置などを考え、マップを作成する。(3) ・マップの下書きを相互評価し、ゲストティーチャーからアドバイスをいただく。(1)	⊖【思-①】 ⊖【思-②】 ⊕【他-②】 (行動観察) (自己評価表)		
	まとめ・創造・表現	4	○マップの修正 ・アドバイスをもとにマップの修正ポイントを出し、今後の計画を立てる。(1)【本時】 ・マップを修正、清書する。(3)	⊖【思-③】 ⊕【主-①】 (行動観察) (自己評価表)		
		3	○企画の実行 ・マップの紹介文を考える。(1) ・作成したマップを校区の施設等に持っていき、PRする。(2)	⊖【思-③】 ⊕【社-①】 (行動観察) (自己評価表)	⇒【国語】 好きな物の紹介	
	実行	1	○単元の振り返り ・学習前と学習後において、どのような力が身に付いたか、地域に対する考えがどのように変わったかを振り返る。(1)	⊕【自-②】 (自己評価表)		
	<p>※単元計画は、単元の見通しを示したものであり、子どもの学びの姿によっては、当然学習過程や時数も常に変更される。学び方においても、一つの形にこだわらず、時には一人で、時には他のグループで等のように、個に応じて最適な学びとなるよう、学びの内容や活動も随時変更を行っていく。</p>					

## 本時の学びの展開

### 1 本時の目標

もらったアドバイスをもとに、より良いマップにするためにどう修正するか考え、計画を立てよう。

### 2 本時の評価

評価規準	評価基準	
自ら課題を見出し、課題解決の方法を考えることができる。 ⊕【主-①】 (行動観察) (自己評価表)	A	アドバイスをもとに、どのように修正すればよいか、そのためには今後何をすればよいか考え、意見を出している。
	B	アドバイスをもとに、どのように修正するか考え、意見を出している。
	C	どのように修正するか考えたことを意見として出すことが十分できていない。

### 3 学習展開 (23限目/30)

学びの過程	課題の設定	情報の収集	整理・分析	まとめ・創造・表現	実行	振り返り
	学びの活動			教師のかかわりの留意点		評価規準 (評価方法)
導入	1 本時のめあてと学習の流れを確認する。 ①本時の活動の見直しをもつ。 ・グループに分かれて、どう修正するか考える。 ・今後の修正計画を立てる。			①・マップの対象と修正の視点を確認する。 ・前時でアドバイスの付箋を付けてもらったマップと、修正ポイントを書きこむためのマップのコピーを用意する。 ・活動するグループを確認しておく。 (編集部・取材部それぞれ記事ごとのグループになる。)		自ら課題を見出し、課題解決の方法を考えることができる。 ⊕【主-①】 (行動観察) (自己評価表)
<b>【本時のめあて】</b> もらったアドバイスをもとに、より良いマップにするためにどう修正するか考え、計画を立てよう。						
展開	2 マップをどう修正するか考える。 ①担当記事ごとのグループに分かれて、どう修正するか話し合う。  ②考えた修正ポイントをもとに、今後何をするか計画を立てる。			①・マップのコピーにどう修正するか書きこませる。 ・部長は部内の各グループを見て回る。 ・ホワイトボードに修正ポイントを書いて黒板に貼らせ、クラスで共有できるようにする。  ②今後の授業日程などを知らせておく。		
まとめ	3 本時の学習を振り返る。 ①マップの対象と修正の視点を意識して活動できたか振り返る。  ②考えたことを共有する。			<b>【予想される生徒の意見】</b> ・学生の人に行ってみたいと思ってもらえるように〇〇を直していきたい。		